第92号　シルバー酒田　平成30年11月15日

シルバー酒田

〈発　行〉
公益社団法人
酒田市シルバー
人材センター
酒田市相生町2-3-80
TEL（0234）22-3344
FAX（0234）22-3434

安田侃（かん）作品「翔生」

フェルメールの代表作「真珠の耳飾りの少女」

窓も芸術

酒田市美術館

千日町　中西　裕子

『光と緑豊かな丘の上の美術館』は、鳥海山と酒田市街を一望できる高台に平成9年に開館しました。

以来、近・現代美術を中心に、絵本の原画展や人形展など多彩な企画が立案され、昨年は20周年記念の特別展が開催されました。地元出身作家の作品、あるいは当地ゆかりの作品などの常設展示室もあります。

静かな雰囲気の中で、日常の喧騒をしばし忘れて芸術作品の前に佇まれる方、時々開催される館内コンサートを楽しみにしておられる方など、美術館での過し方は様々です。また小さなお子様たちが気軽に作品に触れ、歓声を上げて走り回れる展覧会の際は館内の雰囲気が一変します。

美術館に足を運ばれる方は大人も子供も全てお客様ですが、展示室では、あたかも静物のように大切な作品を見守るのが私たちの仕事です。

「いい展覧会だった」「素晴らしい美術館だね。また来ます」などと声をかけていただくと、自分が褒められたようで嬉しくなります。

シルバー派遣事業の更なる発展に向けて

仕事の多様化に伴って、働き手が充実感を味わうことのできる、シルバー派遣事業が、発展・拡大しています。

事務局長
髙橋　純

当センターでは、シルバー派遣事業を平成24年4月に開始しました。当初は「適正就業の推進」という目的で、請負契約に馴染まない仕事についてのみ実施していましたが、最近では新規の契約が年々増え、平成29年度の実績は、受注件数が32件、登録会員数が73名、就業延人員が6,378人日、契約金額が2,161万1,166円と大幅に伸びています。（別表のとおり）

主な業務内容は、学童保育における指導員補助や老人ホーム等での食器の洗浄業務、また、今年度からは障がい者施設での作業活動の援助や見守り、一般事務など業務内容が多岐にわたっています。

・現在の取り組み状況

ここ数年の受注の増加は、人手が不足している事業所向けの派遣事業への需要が増加していることに起因しています。特に、育児や介護等の現役世代を支える分野での担い手不足が顕著であり、当該分野での高齢者の就業を推進することは喫緊の課題になっています。

労働者派遣事業　実績の推移

年度(平成)	登録会員数(人) 男性	女性	計	受注件数(件)	就業実人員(人)	就業延人員(人日)	契約金額(円)
25	14	3	17	5	10	1,244	4,627,513
26	7	4	11	2	5	885	3,519,205
27	5	46	51	21	46	3,278	11,246,588
28	9	57	66	23	50	5,557	17,753,589
29	11	62	73	32	52	6,378	21,611,166

そうした中、当センターでは新たな取り組みとして地域の介護事業所と連携し、介護補助スタッフ講習会を開催しました。「介護補助スタッフ」とは、介護施設での高齢者の見守り、傾聴、お茶出しなどを行うスタッフのことで、講習会で介護、傾聴の基礎的な知識を学び、当センターの派遣会員として地域の介護施設で就業するものです。

9月7日㈮に当センターを会場に講習会が開催され、参加者は38名（会員19名、一般19名）と定員を大幅に超える申し込みがありました。講習内容は、「高齢者の特性とコミュニケーション」「接遇マナーと個人情報保護」「傾聴の仕方」「介護施設の役割」などを学び「施設見学」も行うなど、介護における知識の習得に努めました。

・今後の取り組み

当センターでは、今後も派遣会員と派遣先においてのマッチング機能を強化するため、就業相談会を複数回設けるなど就労支援体制の拡充を図りながら、地域の要望・要請に応えられるよう努めていきます。また、会員の拡大については、各種NPO団体や企業等と連携した講習会を開催することで、地域社会のニーズに応えられるよう努め、市報や地元新聞を積極的に活用しながら、就業意欲の高い市民の入会促進に努めていきたいと考えています。

今後も、センターでの就業を通じて、「生きがいの充実」や「健康増進」を感じてもらえるような魅力あるセンターを目指して会員、役職員が一丸となった取り組みをさらに推進していきます。

介護補助スタッフ講習会

理事会報告

■平成30年度　第３回理事会

（平成30年６月20日開催の定時総会議案審議中の開催）

第８号議案　代表理事の選定について

代表理事は、伊藤興彌さん、土井一郎さん両名に決まりました。

第９号議案　理事長、副理事長の選定について

理事長は伊藤興彌さん、副理事長は土井一郎さんに決まりました。

■平成30年度　第４回理事会

（平成30年７月２日開催）

第10号議案　新入会員の承認について

16名の方々の入会が承認され、７月２日現在の会員数は男性416名、女性282名、合計698名となりました。

第11号議案　理事の各委員会における所属について

総務・事業・会報・安全就業・就業適正化・女性の各委員会の所属については、別表のとおり決定いたしました。

第12号議案　役員賠償責任保険の個人負担について

原案どおり可決承認されました。

第13号議案　顧問の委嘱について

前理事長の落合修二さんと酒田市健康福祉部長の菊池裕基さんを当センターの顧問に委嘱することに決定いたしました。

■平成30年度　第５回理事会

（平成30年９月28日開催）

第14号議案　新入会員の承認について

26名の方々の入会が承認され、９月28日現在の会員数は男性422名、女性295名、合計717名となりました。

第15号議案　賛助会員規定について

原案どおり可決承認されました。

理事各委員会所属一覧表　　平成30年７月２日

		総務	事業	会報	安全就業	就業適正化	女性
副理事長	土井　一郎		○				
理　事	池田　順一		○				
理　事	薄衣　光	○					
理　事	軽部　芳和	◎				◎	
理　事	相蘇　尚	○	○				
理　事	成田　啓一				○		
理　事	伊藤　幸子						◎
理　事	清野　勝博	○					
理　事	渡邉　直子			◎			○
理　事	佐藤　勝秋				◎		

（注）◎は委員長、理事長はすべての委員会に出席できる。

▼安全就業だより▲

業務係長　五十嵐千恵

今年の夏は、「命の危険があるような暑さ」と言われるほどの酷暑と、最上川が氾濫するかも知れないほどの大雨が続きました。体調をくずされた方も多かったようです。これからは寒さに向かって行きます。風邪をひきやすくなったり、疲れが急に出たり、転んだりすることが多くなります。体調不良は事故の元です。くれぐれもご注意ください。

安全就業標語を募集し、連合会に応募いたしました。残念ながら入選できませんでしたが、日頃から安全について考えていただいていることをうれしく思います。安全就業委員会では、無事故を目指し、会員の皆さんの安全意識の向上に努めてまいります。最後に、応募された力作の一部をご紹介いたします。

ＫＹＴ積極的に発言し作業者皆んなの身を守る
齋藤　安正

今日も無事故で家族の楽しい夕餉
成田　啓一

思い込み　ここは安全と思わずに再度確認し！
戸田　勝行

共作業　協調と安全唱和に指差呼称
上林　憲

まだ大丈夫はもう危険　その過信が事故の元
守屋　洋輔

〝ちょっと待て〟これでやったら「危険」だぞ　点検指示で再確認
大井　喜一

心の隙が怪我のもと　だいじにしよう　このからだ
糟谷久美子

下日枝神社随神門

一階エントランスホールの展示

てんぜんわがしんをたのしむ

ーフェア
創作展

“可愛いね”

オリンピック近し

われ蟹と戯れる

第24回会員創作展（シルバーフェア）が酒田市総合文化センターで開催されました。この人がこのような作品をと驚きながら、熱心に鑑賞する会員に加えて、一般の方々も多数来場されました。

期　間：10月12日㈮～10月14日㈰

出品者：58名、出品数：304点、来場者数：401名

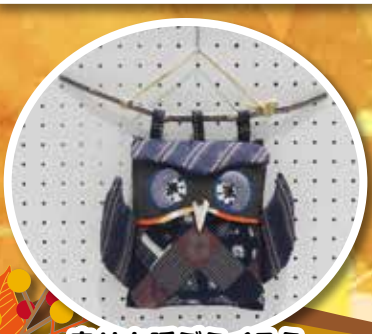
ブーゲンビリアを盆栽で？

シルバー

会員篇

上手いもんだの！

学童の皆さんの作品


幸せを呼ぶふくろう

刺し子のバッグ

素敵な掛け軸

金魚と蛙

生活と福祉セミナー

平成30年10月13日付山形新聞より転載

会員らが趣味の絵画や木工出展

酒田・シルバーフェア

酒田市シルバー人材センター（伊藤興弥理事長）の会員や家族らの趣味の作品などを紹介する「シルバーフェア」が12日、市総合文化センターで始まった＝写真。14日まで。

約60人が絵画や写真、盆栽、手芸品など多彩な作品計約220点を出展した。日本の名城や浮世絵を細やかに掘り込んだ木工作品なども並び、来場者が見入っていた。

展示は午前9時～午後5時。13日午後1時半からは同センターで、市内の社会福祉士・行政書士の進藤正則さんが生活と福祉をテーマに講演する。参加無料。

ロコモを防ぐ運動「ロコトレ」

続けることが肝心です。「ロコトレ（ロコモーショントレーニング）」でいつまでも元気な足腰を。

頑張りすぎず
無理せず自分のペース
で行いましょう！

ロコトレはたった2つの運動です。毎日続けましょう！

バランス能力をつけるロコトレ「片脚立ち」

※左右1分間ずつ、
1日3回行いましょう。

転倒しないように、
必ずつかまるものが
ある場所で
行いましょう。

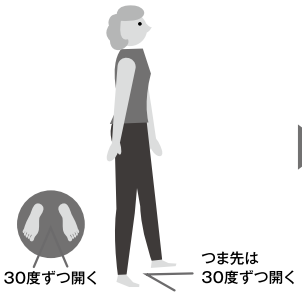
床につかない程度に、
片脚を上げます。

●姿勢をまっすぐにして
行うようにしましょう。

●支えが必要な人は、
十分注意して、机に
両手や片手をついて行います。

指をついただけ
でもできる人は、
机に指先をつい
て行います。

下肢筋力をつけるロコトレ「スクワット」



1 肩幅より少し広めに足を広げて立ちます。つま先は30度くらいずつ開きます。

2 膝がつま先より前に出ないように、また膝が足の人差し指の方向に向くように注意して、お尻を後ろに引くように身体をしずめます。

スクワットができないときは、イスに腰かけ、机に手をついて立ち座りの動作を繰り返します。

※深呼吸をするペースで、5～6回繰り返します。1日3回行いましょう。

ポイント

- ●動作中は息を止めないようにします。
- ●膝に負担がかかり過ぎないように、膝は90度以上曲げないようにします。
- ●太ももの前や後ろの筋肉にしっかり力が入っているか、意識しながらゆっくり行いましょう。
- ●支えが必要な人は、十分注意して、机に手をついて行います。

ロコモとは？

この記事は、公益社団法人日本整形外科学会ロコモチャレンジ！推進協議会様からパンフレットの一部転載許可をいただいております。

随感

我家の大切な柱時計

東泉町　守屋　清

昔でも今でもどこの家庭にも、柱時計があると思います。

我家では自分の知る限りでは、40年以上頑張っております。自分が家に不在の時など、ねじをかける人がいない時は止まっていた時もありました。今では時計が止まらない様ねじのかけ忘れの無い様に注意をしています。又、時計の精度については振子の調整をしないと、多少進んだり遅れたりします。調子が悪いと鳴子がなりません。正しい時間を知るとなると、ホームセンターで販売しているクォーツ系の手頃な値段の方がよいのかも知れません。

ただ父親が椅子に立ち、伸び上がって柱時計にねじをかけていた姿が思い出されます。我家の柱時計は止まらぬ様に、ねじをかけ続けて愛着を持って話かけています。頑張れ！

ちなみに柱時計のメーカーは、AIKŌSHA　アイコウシャです。

楽しく生きていくために

北里町　村井　節子

60歳を過ぎて、今までの人生を振り返ると、失敗と反省の繰返しでした。その中で学んだ事が二つあります。一つは、人間関係を豊かにするには、人のいい所を見て好きになること。以前、相手のいい所を10個見つけましょう。という研修を受けたことがあります。いやいや、10個は厳しい～でも、必ずいい所はあります。二つ目は、笑顔でいること。

ある人が言っています。楽しいから笑顔になるのではなく、笑顔でいるから楽しくなると…

人生100年と言われる今の時代、心穏やかに楽しく生きていくために、人を好きになって、笑顔で毎日を過ごしていきたいと思います。

がんすとごわす

大河ドラマ「西郷（せご）どん」も大詰めに差し掛かって来ました。庄内は西郷どんとは縁浅からぬということで、毎週楽しみにしている皆さんも多いと思います。その庄内と薩摩には似たような言葉があります。

それは「がんす」と「ごわす」です。今ではなかなか使う人も珍しくなりましたが、酒田の商人（あきんど）が「…でがんすの」と柔らかい口調で話すのを、好ましく聞いていたことを思い出します。

対するのは「ごわす」、ドラマでは、「腹いっぱい米飯を食わせたかでごわす」などと、頻繁に使われています。もう、説明するまでもなくその意味は「ございます」「あります」ですね。

はるか遠隔の地の方言ですが、語源は同じであることに驚きます。そう言えば胸に手を当てると、使われなくなった庄内弁の数々に思い当たります。言葉は生きているのですね。

会報委員会のメンバーが変わりました。

9月4日付で新しい委員が委嘱されました。今後ともよろしくお願いいたします。

◎渡邉　直子　東大町
小山　専一　南新町
三丁目蕙子　東泉町
小林　隆治　松原南
佐藤　鏗爾　事務局
◎印　委員長

2019年度版（平成31年）
シルバー会員手帳
発売中
310円
事務所までお申し込みください。

おしらせ

●新年祝賀会
○日時／平成31年1月12日(土)
午後2時開宴
○会場／ホテルリッチ＆ガーデン酒田

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

小山　國男さん（七十四歳）30年8月
佐藤　千恵さん（七十七歳）30年8月

写真で見る 2018 この半年 みんながんばった!!

公園緑地班草刈機安全講習 8/28

地下道清掃 8/27

酒田市長へ要望書提出 8/9

お寺の花片付け 9/3

光ケ丘公園草刈り 9/3

介護スタッフ講習会 9/7

襖張替え 10/16

光ケ丘公園清掃ボランティア 10/17

学童保育所で紙芝居公演 10/22

編集後記

今年は自然災害続きで、今なお復興に苦労されている方が大勢います◆私自身、8月6日早朝の最上川洪水警報に驚かされ、本当に恐怖を感じました。時には自然の脅威の前に無力になる私達、人間の自然破壊という影響があるからなのでしょうか？◆先日は敬老の日、百歳以上の高齢者は全国で約6万8千人とのこと。過去最高と発表され、医学の世界では驚異の対象と言われています◆私達は仕事を通して社会参加ができ、生きがいを感じながらまわりの人達と協力したり、苦労をシェアしたり、仲間との関わりも長生きの一因かと思います◆仲間意識を大切にして日々を充実させたいものです。冬の足音が日増しに高まりつつある今日この頃、時には陽射しを浴びて心も身体もホットな気分で！

（渡邉）